

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則並びに申し合わせ事項により実施する。

2 競技者の招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点横（競技場北側スタンド下倉庫）および100mスタート地点後方ゲート外に設ける。ただし、ジュニアやり投は第3競技場南側フィールドで招集を行う。
- (2) 招集時刻は、プログラムの競技順序（招集時刻）記載のとおりとする。
- (3) 招集手順
 - ① 競技者は出場種目の招集開始時刻（点呼開始時刻）に招集所で点呼を受けること。その際、ナンバーカード、競技用靴、衣類、持ち物などの点検を受けてそのまま待機し、招集完了時刻（移動開始時刻）に競技者係の指示に従い移動する。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、同時に2種目に出場する競技者は、最初の種目の招集時刻に、2種目同時出場届（招集所に準備）を招集所に提出すること。
 - ③ 混成競技の招集は、両日とも第1種目においてはトラック競技及びフィールド競技の招集時刻に招集所で行う。2種目以降は、混成競技控所でトラック20分前、フィールド30分前に招集を受け、最終コールは現地で行う。混成競技控え場所をメインスタンド下に設ける。
 - ④ 棄権する競技者は、棄権届（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
 - ⑤ 招集完了時刻（移動開始時刻）に遅れた競技者は、当該種目に出場できない。
 - ⑥ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無にかかわらず、ラウンドごとに招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を招集所に提出すること。なお、リレーオーダー用紙は、招集所に準備する。
 - ⑦ リレーのエントリー以外から、リレーに出場する場合は、オーダー用紙に出場種目と記載ページを記入すること。ただし、ジュニア種目からのエントリーはできない。

3 ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、主催者より配布されたナンバーカードを、そのままの形で胸と背にはっきり見えるように4カ所とめて、付けること。ただし、跳躍競技の競技者は、背又は胸に付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカード（腰ナンバーカード）を右腰（オープンレーンの場合は両腰）のやや後方に付けること。

4 競技について

- (1) トラック競技において、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。ただし、混成競技においては、2回目に不正スタートした競技者が失格させられる。
- (2) トラック競技、フィールド競技、混成競技におけるレース及び試技順序については、プログラム記載とおりとする。
- (3) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 4×100mリレーの第2・3・4走者は、競技者係から渡された目印用テープのみを1カ所に置くことができる。レース終了後は第1・2・3走者が自チームのテープを取り除くこと。
- (5) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い、前走者が200mスタート地点を通過した順位で内側から並び、待機する。その後に順位の変動があっても位置を変えてはならない。なお、バトンを渡した後の走者は、後続の走者の走路を妨害しないように注意すること。

- (6) リレー競技においては、チームの出場者は、同一ユニフォームを着用すること。ただし、ショーツについては、類似したものであれば許可する。
- (7) スパイクの長さは、走高跳及びやり投は12mm以下、その他の競技は9mm以下とする。いずれの場合も、スパイクの数は、11本以内とする。
- (8) 長距離及び競歩競技については、気象状況を考慮して給水を実施する。
- (9) 助走路を使うフィールド競技では、走高跳を除いてマーカーは、助走路の外側に置かなければならない。競技者は、助走や踏切をしやすいするために、主催者が準備したマーカーを2個まで置くことができる。
- (10) サークルから行う投てき競技者は、サークル真後ろあるいはサークルに接して、主催者が準備した目印用マーカーを1つ置くことができる。
- (11) 三段跳の踏み切り板は砂場から、男子13m、女子11mの位置に設置する。
- (12) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件などにより変更することもある。ジャンプオフのためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

男子	走高跳	一般	練習 1m80	1m85-1m90-1m95、以降 3cm
		ジュニア	練習 1m70	1m75-1m80-1m85-1m90-1m95、以降 3cm
	十種競技	練習 1m50	1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80、以降 3cm	
女子	棒高跳	一般	練習 4m00	4m20-4m40-4m60-4m70-4m80、以降 5cm
		十種競技	練習 2m50	2m60-2m80-3m00-3m20-3m30-3m40、以降 5cm
女子	走高跳	一般	練習 1m50	1m55-1m60-1m65-1m70-1m75、以降 3cm
		ジュニア	練習 1m40	1m45-1m50-1m55-1m60-1m65、以降 3cm
		七種競技	練習 1m25	1m30-1m35-1m40-1m45、以降 3cm
	棒高跳	一般	練習 2m40	2m60-2m80-3m00-3m10-3m20、以降 5cm

- (13) 電子機器（携帯電話、音楽プレイヤー等）を競技場内に持ち込むことはできない。
- (14) 競技に使用する器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、個人のもを検定・検査の上、使用を認める。やりの検査は当該競技開始時刻90分前から60分前までにフィニッシュライン付近の器具庫で行う。
- (15) フィールド競技の助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。

5 表彰について

- (1) 各種目の決勝で3位までの入賞者を表彰するので、競技終了後、表彰者控所で待機する。
- (2) 優秀選手賞については、昨年度日本100傑により、男子1名、女子1名を決定する。

6 フィールド競技ジュニア種目の測定距離について

男子走幅跳	6m20	男子円盤投	32m00
男子やり投	45m00	女子円盤投	28m00

7 練習について

- (1) ウォームアップ及び練習は、第3競技場（400m）、第2陸上競技場（300m）、投てき場で行うこと。ただし、指定された時間内において、本競技場内での練習を許可する。
- (2) 練習については、ウォームアップ場係の指示に従うこと。第3競技場の19日、20日は障がい者が練習するので、特に安全に留意すること。
- (3) 投てきの練習の際は、必ず指導者が付き添うこと。
- (4) 投てき練習用具は、各自で持参すること。
- (5) 練習会場の使用日程は練習会場使用日程表のとおりとする。

8 写真・ビデオ撮影について

競技場内の写真・ビデオ撮影禁止エリアでは、選手のプライバシーや肖像権を保護するために、大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。

撮影を希望する者は、大会本部に申し出て許可を得ること。

9 その他

- (1) 大会期間中に生じた傷病については、応急処置は行うが、それ以後の責任は負わない。
- (2) すべての競技記録と番組編成表は競技場玄関前の記録掲示板に掲示する。
- (3) 棒高跳ポールの返送は、19日（17時～19時まで）、20日（14時～16時まで）、正面玄関前で手続きを行う。
- (4) 開門時間は7時00分、閉門時間は19時00分とする。ただし、最終日の閉門時間は17時00分とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管すること。荷物は各自で管理すること。
- (6) ゴミ類は、すべて各自の責任で持ち帰ること。
- (7) 集団での応援は、競技の妨げとならないように注意すること。また、メインスタンドからの応援は認めない。

10 ナンバーカードとプログラムの配布について

- (1) 配布場所：KIRISHIMA ハイビスカス陸上競技場 正面玄関ホール
- (2) 配布時間：

8月17日(木)	13:00～17:00
8月18日(金)	8:30～17:00
8月19日(土)	8:30～17:00
8月20日(日)	8:30～12:00